

きょうと介護・福祉ジョブネット チーム活動方針について（案）

協働戦略検討チーム 令和7年度活動方針案

- 活動目的 介護・福祉人材の確保が喫緊の課題である中、業務及び職場環境の見直しを図り、「生産性向上」を推進していくことは、人材の定着やサービスの質の向上に効果的な取組である。一方で介護・福祉現場では、「生産性向上」に係る意義や取組が浸透しているとは言えず、取組の状況も事業所によって様々であるため、施策の方向性や効果について検討を行う。
- 活動内容 <年4回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>
 - ・京都府事業及び介護・福祉職場サポートセンター（仮称）運営に対する意見収集
 - ・施策の方向性の検討や各種事業の効果検証
 - ・モデル事業（グループ組成）の推進
- メンバー構成 他団体・関係機関等との連携の観点から本チームの検討内容について、各団体で検討し、とりまとめができる方

仕事理解促進チーム 令和7年度活動方針案

- 活動目的 介護・福祉の仕事が子どもたちの職業選択の1つとなるよう、業界の魅力発信に取り組むとともに、子どもたちが進路決定をする上で重要な立場にある中学・高校教員、保護者等に対して、介護・福祉業界の理解促進に資する事業を広域的に推進する。
- 活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>
 - ・小・中・高校生を対象とした福祉体験を効果的に進めていくための方策の検討（プログラムの構築、事業広報の検討並びに市町村社協及び教育関係機関との協働の模索）
 - ・小・中・高校生を対象とした福祉体験の実施・効果検証
 - ・中・高校の教員、保護者等を対象とした業界の理解促進事業の検討、実施
- メンバー構成 小・中・高校生を対象とした福祉体験等の受け入れや地域教育機関等との協働を実践的に行っている団体・事業所・施設の方
※その他、認証事業者からメンバーを公募（2～3名）

業界魅力発信チーム 令和7年度活動方針案

- 活動目的 若者(福祉系学生だけでなく、一般学部生を含む)の参入促進に資する業界の魅力発信について検討し、実施する。
- 活動内容 <月1回程度の会議開催及び関連事業の企画・参画>
 - ・ターゲットへのニーズ調査及び当該結果に応じた事業の検討
 - ・福祉人材育成認証制度及び人材確保関連事業を活用した魅力発信事業の実施(就労支援事業等との協働を模索)
 - ・事業の効果検証とその取りまとめ
- メンバー構成 若者への効果的な魅力発信について検討し、府事業等に柔軟に参加いただける方
※その他、認証事業者からメンバーを公募(4名程度)
※コーディネーター1名を配置予定

北部・福祉の学び創造チーム 令和7年度活動方針案

- 活動目的 北部地域の魅力や地域資源を活かした福祉体験プログラムを構築し、市民(小中高生、大学生、地元住民、移住者等)と福祉事業所が取組を通してつながる環境を構築する。
- 活動内容 <4か月に1回程度の会議開催>
 - ・大学生を対象とした福祉フィールドワークプログラムの構築
 - 就職後の暮らしをイメージできるプログラムの構築
 - 受入プログラムのリスト化(広報ツールの作成)
 - 施設・事業所の受入担当者の養成(指導方法等の共有)
 - ・小・中・高生を対象とした福祉理解プログラムの構築(広報ツールの作成)、実施
- メンバー構成 介護・福祉現場において、体験学習等の受入実績がある方
※その他、認証事業者からメンバーを公募(2~3名)
※コーディネーター1名を配置予定